

# 特記仕様書

共通仕様書に対する特記及び追加仕様事項は、下記のとおりとする。

項 目	特 記 事 項
水道工事共通仕様書	本工事は、岡山市水道局ホームページに掲載している水道工事共通仕様書(令和6年4月改正)、及び国土交通省「あと施工アンカー・連続繊維補強設計・施工指針(平成18年7月)」によるものとする。
水道工事施工管理基準	本工事は、岡山市水道局ホームページに掲載している水道工事施工管理基準(令和6年4月改正)、及び国土交通省「あと施工アンカー・連続繊維補強設計・施工指針(平成18年7月)」によるものとする。
建設副産物の搬出	<ul style="list-style-type: none"><li>本工事中から発生する特定建設廃棄物(As塊)は、岡山市南区箕島地内の再資源化施設、岡山アスコン(株)(片道運搬距離1.9km)、特定建設廃棄物(Con塊)は、岡山市北区福谷地内の再資源化施設、(株)ヨシハラ機工(片道運搬距離15.5km)を見込んでいる。再資源化等費(処分費及び産業廃棄物処理税相当額)は、見積単価を採用している。 尚、運搬に先立ち受入条件等を確認し、監督員に報告するものとする。 上記施設及び処分場に関する所在地及び運搬距離は、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。 尚、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。 ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によらない事項についてはこの限りではない。</li><li>本工事中から発生する産業廃棄物(廃プラスチック)は、岡山市南区大福地内の中間処理施設、(有)山陽テクノ(片道運搬距離6.3km)を見込んでいる。 廃プラスチック処分費(処分費及び産業廃棄物処理税相当額)は、見積単価を採用している。 尚、運搬に先立ち受入条件等を確認し、監督員に報告するものとする。 上記施設及び処分場に関する所在地及び運搬距離は、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。 尚、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。 ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によらない事項についてはこの限りではない。</li><li>本工事中から発生する産業廃棄物(廃石綿含有廃棄物)は、倉敷市水島川崎通一丁目地内の埋立最終処分場、岡山県環境保全事業団水島埋立処分地(片道運搬距離27.5km)を見込んでいる。 廃石綿含有廃棄物処分費(処分費及び産業廃棄物処理税相当額)は、見積単価を採用している。 尚、運搬に先立ち受入条件等を確認し、監督員に報告するものとする。 上記施設及び処分場に関する所在地及び運搬距離は、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。 尚、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。 ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によらない事項についてはこの限りではない。</li></ul>
関連工事	同敷地内にて別途発注工事や作業が生じた際には、施工業者及び局監督等とトラブルが無いよう協議を行い、相互に協力して施工を行うこと。

# 特 記 仕 様 書

共通仕様書に対する特記及び追加仕様事項は、下記のとおりとする。

項 目	特 記 事 項
週休2日の実施について	本工事は、岡山市水道局ホームページに掲載している「岡山市水道局週休2日工事」の実施対象工事（発注者指定型）である。 受注者は、「岡山市水道局週休2日工事（発注者指定型）実施要領」、「岡山市水道局週休2日工事（発注者指定型）特記仕様書」を参照すること。なお、本工事の施工可能時間は、原則月曜～金曜の 8:30 ～ 17:00（岡山市の休日を定める条例に規定する休日を除く）とする。
熱中症対策に資する 現場管理費の補正について	本工事は、岡山市水道局ホームページに掲載している「熱中症対策に資する現場管理費の補正」を行う試行工事である。 工事現場では熱中症対策を十分に行うこと。
有資格者の配置	関係法令に基づいて免許または講習の受講終了等の資格を必要とする作業は、それぞれの資格等を有する作業員が施工すること。
電気保安技術者の配置	電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者を置くこと。電気保安技術者は、次のとおりとする。 (1) 事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、当該電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有するもの、またはこれと同等の知識及び経験を有するものとする。 (2) 一般電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第一種または第二種電気工事士の資格を有するものとする。 電気保安技術者は、必要により電気工作物の保安業務を行うこと。
各種試験	引張強度試験・付着強度試験（炭素繊維シート） 引張強度試験はJIS A 1191によるものとし、付着強度試験はJIS A 6909の付着強さ試験を準用して行うこと。 上記によらない試験方法については、別途監督員と協議のうえ決定すること。 動作確認試験（電気設備） 仮設ケーブル及び新設ケーブル施工完了後、監督員の立会いのもと確認試験を行うこと。
石綿含有建材の処理について	本施設は事前調査の結果、外壁の仕上塗材（下地調整材含む）にアスベストが含まれるため、石綿含有建材を処理する場合は、岡山市アスベスト基本方針（平成18年3月30日制定）及び大気汚染防止法、石綿障害予防規則に基づき適切に処理すること。 また、施工前に施工計画書を、施工後に施工記録報告書を作成し提出すること。
その他	(1) 配水池・浄水場への入退場時には必ず監督員に連絡すること。 (2) 配水池・浄水場内での作業は、衛生面並びに火災に注意するものとし、敷地内は禁煙とする。 (3) 本工事に従事する者は、水道法第21条及び水道法施行規則第16条の定めによる検便（赤痢菌・サルモネラ菌・パラチフス・腸チフス・腸管出血性大腸菌類（O-157、O-26））を実施し、その結果を書面により監督員に提出すること。 なお、検査対象となる者は、1ヶ月以上連続して作業に従事する者とする。 ただし、施工にあたり直接水道水に触れる作業を行う者は、現場作業期間を問わず、すべて検査対象者とする。 (4) 浄水場・配水池敷地内に工事用資材を仮置する場合は、局監督員の了解を得た場所を使用すること。 (5) 塗料、溶剤、油脂類等が水道施設に誤って混入しないよう保管場所、使用方法には十分注意すること。